

ヘロドトス

ホメロスの叙事詩（前 8 世紀）

『イリアス』と『オデュッセイア』

狂気 (ate) →人間の傲慢 (hybris) →神々の怒り→悲劇：必然・定め (ananche)

ギリシア人の歴史の二分法：我々の時代と英雄たちの時代

ヘシオドス(前 8 世紀末)

『仕事と日々』・『神統記』

没落史観

黄金の時代→銀の時代→青銅の時代→英雄の時代→鉄の時代

二時代区分

基本的には英雄の時代以前（並外れた力量を持つ遥かな祖先の時代）と鉄の時代（非力で惨めな我々の時代）

ポリスの発展

ポリス建設者としての英雄譚の創作

各地の英雄廟（前 8 世紀）：地域を守る（テセウスやヘラクレス、ヘレネーなど）

常に語られ作られていく→多数の矛盾しあう英雄譚の存在

植民と交易の発展

外国人（バルバロイ）との接触

ギリシア人の神話・英雄譚体系の中に位置づける

ロゴグラフォイ (logographoi) の出現

イオニア哲学の影響

合理的な思考・非合理の排除

ヘカタイオス（前 550 年ころ～480 年ころ）

ミレトスの人

地誌学・文化人類学の始まり

『周遊記 Periegesis』：「エジプトはナイルの賜物」（Hdt. 2.5）

神話学の始まり

『英雄系統録 Genealogiai』：散文で書く、伝承を批判

ヘッラニコス（前 480 年ころ～395 年ころ）

年代記・地方史・地誌学をはじめる

ヘロドトス（484 年ころ～425 年ころ）

小アジアのハリカルナッソスに生まれる

「歴史の父 Pater Historiae」（キケロ）

二つの帝国を生きる

ペルシア帝国とペルシア戦争（幼児）

デロス同盟の攻勢（前 466 年エウリュメドンの海戦）とアテナイ帝国化（青年時代）

エジプト遠征の失敗（前 454 年）と東地中海における勢力均衡（前 450 年キモンのキプロス遠征失敗（30 歳前後）

アルタクセルクセス 1 世（前 465－424 年）の安定期（アジア旅行）

通訳を介して情報収集、アジアの巨大さと豊かさを実感

ペリクレス時代のアテネ訪問（ギリシア本土旅行と歴史の叙述）

アルクマイオン家を通じてアテナイ台頭の歴史を収集

評議会で作品を朗読（前 445／4 年）

南イタリアへの移住（前 443 年）

ペロポネソス戦争（後日談として『歴史』に挿入）

歴史のスタイルの確立

出身地＋名前＋目的

研究調査する／探求する *historizein*

ペルシア戦争の原因と経過

旅行（商業旅行？調査旅行？）

メソポタミア、シリア、エジプト、小アジア、黒海地方、ギリシア本土各地、
トゥリオイ（Str.14.2.16）

出生

『歴史』の構成

序文（Hdt.1.1.0）→戦争原因についての言い分（Hdt.1.1-5）→リュディア誌／
クロイソス（Hdt.1.1.6-94）→ペルシア誌（バビロニア（Hdt.1.172-200）・ペルシ
ア（Hdt.1.131-140）・シリアとアラビア／キュロス（Hdt.1.95-216）→エジ
プト誌／カンビュセス（Hdt.2.1-3.66）→ダレイオスの登極と帝国の再編
（Hdt.3.67-160）→スキュティア誌（Hdt.4.1-144）→リビア誌（Hdt.4.145-205）
メガバゾスのトラキア遠征（Hdt.5.1-27）→イオニアの反乱（Hdt.5.28-6.42）→
マルドニオスのギリシア遠征（Hdt.6.43-45）→マラトン遠征（Hdt.6.46-120）→
マラトン後のギリシアの情勢（Hdt.6.121-140）→クセルクセスのギリシア遠征
（Hdt.7.1-9.107）

後日譚（マシステスの妻・アルタユクテス：Hdt.9.108-121）

エピソード（Hdt.9.121）：キュロスの叡智：「平坦な土地を耕すよりも、貧しい
土地に住んで他を支配する道のほうを選んだ」

報復の連鎖

ギリシア人の神話を利用（親ギリシア派のペルシア人から聞く）

イーオー→エウローペー→ヘレネーとトロイ遠征→クセルクセスの遠征
ペルシア人の神の正義と懲罰観とは一致せず

絶対的な正義観

因果応報

狂気（ate）→人間の傲慢（hybris）→神々の怒り→悲劇：必然・定め（ananche）
→賢人

脱民族主義

イオニア人の反乱はギリシアとペルシアにとって不幸の発端 (Hdt. 5.97)

文化人類学

エジプトとギリシアの文化の比較 (Hdt. 2.35-36)

輪廻の思想

死者の魂は 3000 年で一巡する (Hdt. 2. 123)

絶対年代を記しているのは 1 か所のみ

クセルクセスの遠征の年：「アテナイでカッリアデスがアルコンの年（前 480／479 年）」
(Hdt. 8.51)

アテナイ訪問

エウセビオス：第 83 オリュンピア期の 4 年目（前 445／3 年）に評議会で朗読

プルタルコス：アテナイから 10 タラントンの報償

前 444／3 年にトゥリオイ入植（スーダ）